



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/4

ぼくは、いままで原爆はとっても恐いものだということしか知らなくてそれ以外のことはなんも知りませんでした。しかし、今回、原爆先生のおかげで原爆の恐いところもあらためてしることが出来ました。それは、原爆が落ちた時には、「ドーン!!」というおおきな音がなりその一っしんの時間で広島市の人口35万人のうち、被爆者数24万人で、死者数14万人という大きな数字が出たのが原爆でこんな多くの命がぎせいになったと聞くとその時に亡くなった人や、キリキリ助けた人たちの苦しさが分かりました。あと、原爆の内側の温度100万と、表面温度が7000とものとても熱いものが地上から、600mで、と、2も近いところにあり、なんと地上での温度が3000ともあり、鉄などはすべてとけ、すべてがなくなりました。その授業の最後に見た、原爆先生の実際にその場にお父さん池田義三さんの動画でその時のことを話している時に涙を流して泣いていました。ぼくは、そのときに、べの中がさうとうつぶんか、たんだな、助けたか、たけと、助けられなかつた人たちの命のことが、ぼくには、そう感じました。ぼくはこの授業のおかげで



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

いままで知らなかった原爆の恐しさやその場にいた人たちの苦しさが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

1/14

ぼくが小さいときに原爆ドームに行ったことがありま  
した。そのときに、戦争でぼく悲しくはいけないこと  
だけに住んでいた人たちもみんな無事に助かったんだ  
など戦争のつらさ、苦しさも知らずに思っていました。そし  
て今日戦争経験者の言話をもとにして原爆について聞  
いていました。その話の前までは、たくさんの方が亡くな  
ったというのは知っていたものの、原爆の怖さやおそろし  
さは知りませんでした。8時15分になった爆心地を再現し  
てもらうと「バン」として大きな音がひびきわたりました。その後  
に太陽の表面は6000℃で原爆の熱さは、7000℃で  
地上から600mの高さで爆発したと聞いたときに頭の中で  
いつも宇宙にある太陽だがそれが地球上の600mの  
高さまで押しよせできたと考えたときに初めて原爆のお  
そろしさを知りました。そこから原爆、もう作ってはならない  
物だし、何が争いがあったとしても糸色対に兵器を使わず解決  
しないで話し合っ解決しないとなと改めてどんなに平和  
がありがたいことなのかわかりました。その後原爆を  
受けた人たちが命がけて助けを求めていた姿を想像  
すると人をこれだけ苦しむことが悲しい思いをする爆たん



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/14

はなぜつくられたのかというのと同時にもうこれ以上人の命を  
 うばうことが決してあってはならないことなのかを知れまし  
 た。そして教科書で見た戦争中の子どもたちの写真をみ  
 ると戦争、何のためにやっているのかなという思いが戦争をや  
 ってもただ人の命だけがうばわれていくだけの物をなぜやる  
 んだろうと疑問をもちました。これからの日本や世界は何か  
 あろうと決して兵器で解決してはならなく話し合っ解決  
 すればき、と世界との仲も深まると思っ、戦争をしても人の命  
 が何万人、何百万人と失われていくだけだから平和を築  
 いていくことがこの地球で生きていく上で大切なことだ  
 とぼくは思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/14

私は、この授業を通して、原爆のことについてもっと知りたいと思いました。なぜなら、その熱線が太陽よりも熱く、しょうげき波は音速よりも速い、秒速440mで人口35万人のうちの24万人が被爆者でその中の14万人が亡くなっている。およそ70%の確率で被爆者になり、40%の確率で死亡してしまう。5人に2人が死亡する。14万人のうち2万人はいっしょんで死んでしまう。まさか2万人もの人が熱線としょうげき波でいっしょんで水分が蒸発し死んでしまうなんて予想をはるかに上回っていておどろきました。そして、義三さんや、死亡した人達、被爆者の人達が体験したような、焼けた皮がはがれ落ちるいたさ、それをさわった辛さ、だれにも助けられずに焼かれて死ぬ苦しさを、あんなたくさんの人に知ってもらって、戦争の悲しさや苦しさを伝えたいと思いました。そして、だれも同じ思いをしない平和な世の中をつくらせていきたいと思いました。そのために、まずは自分自身が戦争や原爆についてもっと知り、その怖さ、おそろしさを自分の周りの

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

の人に伝えていくことから始めていきたいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は想像よりもはるかに被害が多くてびっくりしました。特に熱さにおどろきました。太陽よりも熱いばくだんが落ち、3000℃という熱さになるなんて知りなかつた。死者も予想よりもはるかに多かつた。ほとんどの死因はやけど。ときいて私はもしその場にいたら... と思ってもかなくなりました。原爆先生のお父さんの話では、私達が思う被害よりもさらにひどい現場だったことが分かりました。たくさんのお父さんをお救いしてきてくれた原爆先生のお父さんはすごいと思いました。私も原爆先生のお父さんの様に人のために動く人になりたいです。今日の特別授業を受講して私はもう二度とこのようなことになってほしくないと思いました。原爆のことをみんな忘れていってしまうかも知れませんが私は絶対に今日の授業そして原爆のことを大人になってもおぼろげに忘れないようにしていきたいと思えます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

1/14

私は原爆先生の話を聞き、落下地点のほぼま  
下の原爆ドームの近くにある電話局のトイレの  
中に急いで逃げこんだ人がいると聞きました。  
その人は目かたたことがきせきてした。周りにいる  
人たちは、焼け死んでしまいました。私はその人が  
目かたたことに、すごいと思いました。なぜなら、  
私だったらそういうことをあせて考えられないけど、  
その人はしっかり考えて、行動をしたからです。  
広島市の人口は35万人です。死者数は14万人  
です。そのうちの2万人の人口はだれ一つ後かたもな  
く一しゃんで消えていきました。会社か「開くまで」  
階段でこしをかけている人が、コンクリートに黒いしみを  
残したまま男性は消え去ってしまいました。  
私は動物の内臓の近くの水分が一しゃんで  
無くなってしまうと聞き人間は一しゃんで無くならない  
のかを少し疑問に感じました。今日は戦争に対して  
の気持ちがい深まりました。特別授業ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

私は爆心地に広島がなれた理由を知っておどろきました。前まではただたんに落としたと思っただけで条件にこだわらなかつたことを知りました。そもそも爆心地の条件があると思っただけでなかつたからこのことについてもおどろきました。

また京都が候補に上がっていることにもびっくりしました。「文化財などがあるからまずを付けてはいけぬ」などで爆心地にしなかつたのが特にびっくりしました。なぜそのような理由で爆心地からはずしたのか気になります。

原爆が落ちてきた時パラシュートを付けていたというのを知ったこととあわせて、本当はラジオホーンについていたと知って「さっし」「さっし」などと思いました。

原爆を落とした時になぜ同じ方向に逃げたのか、<sup>逃げ</sup>逃げた手に分かれたのか。

原爆の表面温度を知った時びっくりしました。もっと低い。1000とあるか、10000くらいだと思っただけで、思っていた10倍ほど高く、びっくりして、もっと原爆のことらしく知った方がいいと思いました。

原爆の時の衝撃が1回目と2回目でちがう衝撃だと知った時びっくりしました。1回目は、原爆の爆発した時の衝撃





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

2回目は爆はつか地面がははね返ってきた衝撃。自分は1回しか衝撃はないと思っていた。だけど原爆の力が強いため2回も起きたと知りとてもびっくりした。原爆はそんなに怖いものだなと思った。

衝撃波の早さを知った時は本当にびっくりした。物が粉々になったり、建物がこわれしまうと知り、びっくりした。

爆心直下の温度が3~4000℃とすごく熱いと知ってその直下には人はすごく苦しんだらと思った。

原爆ドームは直下にあつたためボロボロになつてしまい、そこでたくさんの方が焼け死んでしまった。そのことについてくわしく知って自分が思っていたことよりもすごく苦しいことだと知った。その中でも助かった人は本当にすごいと思った。

原爆による天候なども変わつてしまい、原爆雲が出来たりしてすごく大変だったんだなと思った。

今も家に帰れない人がいたり、原爆症になつて苦しんだりしている人がいると知り、今自分がこうやって生活できていることは幸せなことなのだと感じた。これからは今の生活を大切に、原爆のおそろしさをたくさんの人たちに知ってほしいと思った。今が平和がよかったらと思った。これからも平和をいっしょにいたいと思った。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

今回の原爆先生による特別授業により自分よさまざまな知識、お  
 しろきをえました。広島に落とされた原爆「トルボム」これが落とされた  
 きあたりは「面ヤけごけ」灰色だけの世界になつてしまつたとき  
 そこにいた人は「にげ場もなく全身ヤけど」を負つたり、死んでしまつて  
 んなひさんな場所「自分たつたらち向かえるのか」ところにいた兵隊の  
 のすごさに被災者に対する思いが強いのだと思われました。また原  
 爆が落ちた爆心地 その上には、中心温度100万度表面温度は太陽よ  
 り1000度高い9000度という木目像もできないほどあつた球形が「できたさうど」  
 地面についたときは30度でそれを開けば「本人ごとあたり1面が灰色  
 だけの世界になつたのか分かるまがします。実は原爆が落とされる諸  
 市には条件が3つあつたさうです。1つ目は直径5kmを超えている。2つ目は平野  
 である3つ目は空襲がなかつた。この条件をみたした都市の中で「候補が」  
 あつたさうです。広島・小倉・長崎・横浜・新潟・京都 この中でも  
 強くおされたのは、京都で「おくれ」と京都には、歴史が1000年以上  
 のものがあると「かされ」広島・小倉・長崎に決まりました。この順  
 番は、その天候があるかたつと変えていくこと「おくれ」天候  
 がすべて悪かたらその日は「おくれ」さうたつたさうです。そして原爆に  
 よる被害者は、最初に書いたよ全身「にげ」になつたりして  
 たので「すけど」、その被害者でも生きている人を助けたいさう



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/14

とした兵隊さんがトラックに乗っていたら道のいたるところにその被害者がいてトラックを止めたらその被害者達が持台に乗ろうとしていてその手をひっぱたらやけどでひふがぼろぼろになっていたのかひっぱたら手のひふがズルッとむけてこれがおれてしまった人もいたそうです。これを聞いて原爆のおそろしさにあらためて考えさせられました。だから今のよな平和な世界がどれだけよいのが分かりました。そしてこの平和さをたもていけたらいいなと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1 / 14

私は、「原爆はおそろしいものだ。」ということを知って  
いましたが、どれだけおそろしいものかは知りませんでした。  
でも、原爆は、たった一発で、14万人もの命を一瞬でう  
ぼってしまうことや、太陽よりも高い温度で接近  
してしまうこと、毎秒440mと、音より速い速さで伝わる  
衝撃波で、あっという間に、建物をこわしてしまうこ  
とが分かり、もし自分がそこにいたら、苦しい、つらい、怖  
いだろうと考えると、当時の人々がとてもあわれに感  
じました。でも、池田義三さんが、広島平和記念館に行かれた時の  
話で、当時の人の人形があったことを話していて、私は、それ  
だけでも戦争がひどくて、どんなに苦しかったのだろうと、た  
えきれませんでした。池田義三さんが「きれいすぎる」と  
つぶやいたことを聞いて、これがきれいすぎるのなら、現  
実はどんなに、ひどかったのだろうと想像すると想像が  
つかなく、実体験者だから分かるのだろうと思いたけど、  
この原爆のおそろしさは、人間がずっとつないでいかな  
ければならないと思いました。

また、はくはつしたすぐ下にいた人が、黒いすみのようなもの  
だけを残して消えてしまったという話を聞いて、そこにいた



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

114

人は、それまで原爆が落ちることなんて全く想像していなか  
ただろうし、太陽のようなものが真上、600mくらい上か  
ら落ちてきて、まさか自分が亡くなってしまふなんて考えても  
いなか。ただろうから、その当時の人がどう思っていたの  
かは分からないけれど、何が起きたか分からない。恐ろ  
や、感じたことのないあつさを感じて、つらかったのだらう  
と考えると、戦争、原爆というのを簡単に考えてはいけない  
のだらうと思ったし、これから、戦争を永久に放棄して、  
このひさいが再び起ってはいけないと強く感じまし  
た。そして、当時の人々の中には「助けて、助けて」と、生き  
たくても、生きられずに亡くなってしまった人がほとんど  
だと思ふので、今、「死ぬ」ということを簡単に考えては  
いけないし、今、生きていることに深く感謝して、一日  
一日生きていることを深く感じながら、これから  
生活してまいります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

原子爆弾のことは、ニュースや社会の授業などで少しは知っていますが、この特別授業を受けて想像をはるかにこえるほどの被害があったなんてすごくおどろきました。特に印象的だったのは原子爆弾が、太陽の表面温度より高い熱をもっていたこと、原子爆弾の被害にあつた人たちの体の状態のことです。原子爆弾の熱や、衝撃波、放射線にあたり、もう人間の体の形には見ることの出来ないような人達が救いの手を差し伸べ、助けようとするが、助けることのできない人達が何千も何万人もいるということを知り、世界のまじしさを感じました。もし自分が、原子爆弾に巻き込まれていたと家族や友達が一人のようにして、消えてしまい地獄のようなさけびをあげているんだと想像したとすごくおそろしく感じました。池田さんのお父さんのような原子爆弾の被害にあつた所の陸軍になつたと、周りのこの景大信じきれず、自分の目をうたがひ、生きてるのが死んでいるのか分からないような人達や、「助けて」「助けて」といっている人達を見捨てることは出来ない



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

と思います。これから、自分が日本人としてこの原子爆弾の  
のむきだしや、戦争のむきだしを忘れないでいた

た。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/14

私は、元々原爆について少くも少しは知りませんでした。けれど、今回原爆先生に原爆について教えてもらい私は、原爆のこわさが分かりました。特に感じたところは、原爆の熱さについて説明していたときと、広島県産業奨励館、今の原爆ドームのときと、原爆資料館を、池田義三さんと原爆先生が行ったときの話です。原爆の熱さについての説明で、原爆の表面の温度が7000℃、太陽は6000℃で、太陽が東京スカイツリーの高さから接近してくるのと同じと聞いて、考えてもどの位のいかに想像が使えなかつたけれど、写真などを見て、どれだけのいかにあつたのか分かりました。今の原爆ドームも被害を受け、原爆ドームになったことは知っていたけれど、今回、広島県産業奨励館と言う名で、熱線と衝撃波を真上で受けたと言うことを知りました。私はそんなに近くで被害を受けたことにおどろきました。池田義三さんと原爆先生が原爆資料館を訪れたときに、池田義三さんが、被爆者の模型を見て「きれいすぎる」とつぶやいたことを聞き、写真を見て私は、模型でもすごいのに、これでもきれいすぎるのかとおどろきました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/4

私は今回、初めて知った事が沢山ありました、  
私が一番心に残っているのが、原爆先生が  
原爆の音を表現(再現)してくださいました時、  
私はとてもおどろき体がこわてしました。

なので私は、これを何も知らないで目の前で起きたら、  
と思ったり、再現している音等を思い出しただけでも  
おそろいと思いましたが、私は原爆は危険な物とは知っていま  
したが、音が大きく、とても熱かたという事を知り、それだけ原  
爆は危ない物だと改めて知りました。他にも、原爆後  
に見た人の乗子の事等も初めて知った事は、<sup>(原爆)</sup>途中で先生が原爆  
後歩いて<sup>の事</sup>いた人を表現してくださいました。そして何十年もた  
<sup>(いにはかかっている)</sup>たのにそれを表現できるほどその人達がどんなに痛そうだと、<sup>(おかしな事)</sup>たのかという事が

<sup>とてもわかりました。</sup>他にも原爆での死亡率が40%だと言う事は、  
放射線を受けた人が病気にかかってしまうという事を  
知り、原爆は今度絶対に起きてはならないと思いま  
した。私はそのためにもまずは争い事をなくし、  
たとえあ、たとしてモバクカン等は使わず、話し合い等で  
解決するようにする事が一番大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

一/十四

昔あった戦争で投下された原子爆弾「リトルボーイ」にどれほどの大きな力があったかにおどろきました。まず、12mの大きさと約4tの重さが「エノラ」によって投下されたときに地上から600mの場所で爆発したこと。それで200mほどの円になり、その中心部は100万℃、外側は太陽よりも1000℃高い7000℃という高温であったこと。小さな太陽といえるEの光近くで爆発をおこし、地上には3000℃がとどいていたと教わった。人が30℃ほどだとしたら100倍におよぶことを考えると、とても恐しい物だと思った。でも爆心地のほぼ真下にあつた原爆ドームがまだ残っていたかを不思議に思つた。また、その原爆により広島市民の40%の人々が命を失なつてしまつたこと、そしてその体験談を聞き、こんなことはもうおきてははいけないことだといふことを感じ、学びました。これからの未来もずっと平和なものが今のようにつづき、戦争のない世の中になつてほしいと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

ぼくは、今まで原子爆弾になんて落ちることなんてないんだと思っていましたがこの話を聞いたときに広島が多くの死亡者が出て、それに5人に1人の方がなくなることもないから、原子爆弾のおそろしさを知りました。まずは、熱線です。広島に落とされた「リトルボーイ」が、地上600mの位置でぼくは7中が8人の温度100万℃周り7000℃直径200mの大きな球体によりその近くの物や動物はほとんど焼けた。その体の水分も蒸気になった。この目は衝撃波です。衝撃波は音速よりも速くつた。あ、た、そう。この目は放射線です。人の体にあたり原爆症になる人も出てきました。この3つは原子爆弾が出してしま。そして火の体を持ち上げようとすると、肉や皮がはがれてしま。この話を聞きぼくは、体がゾクッとなりました。そして、この話を忘れたいよ。え、え。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/4

たった一人爆発をしまして木にまきこた  
た人のほたかばか木を赤色にまきこた  
ご助けけるよんで助けける木をうのときひかかか  
木おちきの人がすごくかわいそうだなとお思  
いました。約4人の人が爆発の人にリトリボーと  
言ひ前があるな人ではじめました。そしてけん  
爆発の人にパラシュートがついているとカチカチ  
した人がいるとパラシュートにラジオソングを  
ナゲていたからパラシュートだけにみえてカチカチを  
してた。そしてパラシュートにラジオソングを  
ていたことにおどろいた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/4

私は、戦争そして原爆の事をくわしくは知りませんでした。  
でも、今回の授業を受けて、たくさん知ることができました。  
原爆が7000℃ 太陽がふってくるのと同じくらい  
あついということを知りました。太陽がふって  
くるなんて信じられない！とおどろきました。想像が  
できなくて、できない「熱さ」が伝わってきました。  
国語の授業で、原爆症で苦しんだ女の子の話を  
前に勉強しました。原爆を受けても死なずに  
生き残ったのに、放射線でやけど死んだ人の話を  
聞いた時、生き残った！と思ってもすぐに死んで  
しまう。なんて悲しい事なんだろう、苦い事なんだろうと  
私は思った。原爆、そして戦争はこんなに  
悲しい事なんだ...と今回の特別授業を  
通して思った。同時に、このことを、この後  
も、つなげておすれ去られないように、つなげて  
行きたいと思った。だからこそ戦争はしては  
いけない、平和な「世界」にしていかなく  
てはいけないと思った。これからも  
戦争のない「平和」な世界でありたい。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/14

戦争とはとてもおそろしい出来事だと改めて知りました。  
その当時の状況や資料が原爆はともおそろしい物だと分  
りました。被爆者の様子や兵隊の感情を伝えられ、  
とても苦しかったです。僕が一番おどろいたのは、原爆の  
いけでした。火暴げま地は原爆ドームの少しはなれた所  
でびくびくしました。それはあのようにぼろぼろになつてしま  
たのだが、真横や真上で爆発したのかと思つてはたか  
らです。1つの爆弾でかなりの範囲で被害にあつたり、  
かなりの高温でとけてしまつたりと予想以上の出来事で心か  
も苦しかったです。兵隊さんたちの感情で居、目の前の被爆  
者を助けたくても助けられないそのせつなさがとてもつらくな  
りました。でも兵隊さんは軍からの指令をこなしながら被爆者を助ける  
ところがとてもかこよく、成義感あふれる行動だったと思ひます。  
被爆者の体の様子はとても苦しがつたと思ひます。最後の方の義三  
さんの言葉でもか例の苦しやかなしさが伝へあり、自然と泣か  
出さつてました。僕は二人を時代に生きていたとどうだろうと考へ  
ました。被爆してとても苦しくも生家族をさがしたり、助けを求め  
ている様子が出てきて言葉で表せない痛いでした。今の世界は平和  
です。差別やいじめ、自殺など悪い出来事はあります。でも、これ



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/14

かつどんな未来が来るか自分たち次第だと思います。僕も前に  
 けがをした陸軍軍医団。でいた人から助けを求めると  
 「助がとう」と言ってくれました。だからのためにと考えると、この貴重  
 な経験を活かし、ありがとうがたうさん増える世の中にして  
 いきたいです。戦争を止めて平和な世界を語りつづき  
 平和な世界にしたいです。でもそれ第一でいきたいと思います。正しい  
 ことでも日々助けたり、愛したりしかなで協力して、平和な世界を  
 築いていきたいです。今日は本当にありがとうございました。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

③ B29爆撃機 エラ・ケイ (候補)

1. 広島 2. 小倉 3. 長崎

① 5km を起えている。 ② 平野であること ③ 空襲がなかった。

この条件がある都市があると。その中で選ばれたのが「京都」だった。一応候補に出たのが 1. 横浜 2. 京都 3. 小倉だけだった。そしてその日は、京都に爆弾を落とすことになり、天気(天候)も良かったため、候補に出ている、京都に決定した。そしてその軍をまとめていたのが「マゼット大佐」という人だった。

9. 広島に投下された原爆「リトルボーイ」(10番を入っている。)

原爆は、約 96.32m の高さから、落とされた。

そして、原爆が落ちるときにたぐりかかかんちがりをし、パラシュートをつけて、落としたという情報もあったが風でどこに落ちる

所が分からないのでその可能性は全く無く本当は、「ラジオゾンデ」という物を付けて、落とした。そして、「ラジオゾンデ」は、レーダーで情報を取り入れることができる。そして、

私は、原爆先生の話を聞いていて、とても悲しかったと思った。

の戦争では、約 40% も死亡率があるしかし、七か八かみいで、肌ただけがただれて苦しむ人も沢山いた。だからこれからは、戦争をやめて、平和な暮らしをした。苦しむ人がいでも減るような。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14(木)

私今日話を聞いて一番悲しかったのは人間のはたのお肉が取られて骨が見えてしまい、あつらも出ていたと言うのを聞いててかわいそうと、思いました。そして太陽が600m上というとても高い場所であり、地面の温度が3000℃になり人々は焼け死してしまいました。でもこうねつのたつまきが来て、それで亡くなってまた人々が多いと聞き「そんなにいやな事2つも来るの!？」とびっくりしました。候補になった都市で、広島小倉、長崎、横浜、新潟、京都でした。でも京都は除外されました。その理由は古いみやこで人間にとって仏像などの重要な物があるからたそうです。そして決まった目的地は広島と決定しました。最後にDVDを見て昔は大変そうだなと改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/14

ぼくは歴史の学習で「原爆のことを知  
たけれど、具体的にどんなものかは、知らな  
かった。原爆が落ちたときのおどろき実感でまたし  
池田義三さんが最後に語ってくれたとき  
も原爆のおそろしさを真げんに語ってくれたので  
感動してしまいました。源がしみじみ出てきます。  
昭和時代の人には苦しかったという気持ちか  
伝わってきました。ぼくは原爆のおそろし  
さを改めて感じてから、ぼくはあまり、  
原爆を使用させないよう、自分でできること  
を考えて実行することで少しは役に立つか  
もしれない。そう考えた。このことを頭に入れ  
て、この先生まいこうと思った人の大切な命  
を人生をうばうわけにはいかない。ぼくは、それ  
をいじの中にしまいこんだ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

ぼくはた、た一つの原爆で何万人もの命が失われると知りしてもおどろきました。そして、この世にこんなにも熱い物が落ちてきたと知りしてもびくりました。放射線によっても人々を苦しめていたと知りしました。そして、人類はなぜこんなばかな物を作ってしまったのだろうと同時に思いました。自分に実際にそこにはいなかったけれども原爆先生の言葉を聞いていただけでそれがどれだけ非さんだ、たのが分かりました。衝撃波が音よりも早いと知り、とても衝撃波が強い、たのが想像出来ました。そしてそこで且力が、たとしても熱や放射線、原爆症によって苦しめられると知りこんなにもひどい物なのかと思いました。そして人口の70%もの人が被爆者かいてそのうち40%もの人が亡くな、てしまったと知りなんでこんなことにな、てしま、たのかと思いました。そしてどれだけ戦争がひどい物なのかを知りました。己のため



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/14

7. もう単戈争は起こしてはならない物だと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

原子爆弾で、自分がそろそろもしてなか、死者数がいてすごくびっくりしました。今回、知らなかつたことがたくさんありました。とくに、いんしょうに残ったことは、広島に投下された原爆「リトルボーイ」です。このリトルボーイはすごくてか、すごく重いということが分かりました。リトルボーイは、投下目標地から、約4km手前で落とされたから、投下している時はものすごい速さで落ちていくことがそろそろ出来ました。そして、上空600mで爆発しました。この、約4km手前で落とされたことが、上空600mで爆発したことを初めて知って、すごくやばいものなんだなとびっくりしました。リトルボーイが爆発して、太陽よりも1000とあついで、7000とにもなることから、こおくなりました。

原爆先生の話を聞いて、ほくは、もっと、原爆のことが知りたくなつたから、今度広島に行つて、どうしようすも見てみたいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

私は今回原爆先生の話しをきいて、原子爆くたんが  
落とされる事は二度とあつはいけないと思ひま  
した。先生が原爆先生は暖房がかいとパタパタは  
ごきいていたの下としてこの間の事はあと思ひまし  
た。話を聞いてみると、とても熱心に話してくれて  
それだけ原子爆くたんがこわいかわかりました。  
死亡率も40%はおよ半分の確率で亡くなるという事を  
知りとてもおどろいたし、こわい、たす。  
原子爆くたんかよく発する時は原爆先生が体育館全体  
にひびきわたるようで、それだけ原爆ドームの近  
くにいた人が<sup>エビ</sup>恐れた、たか、こわい、たか  
かよくわかりました。今回原爆先生の話しをきい  
て、原爆の<sup>エビ</sup>恐しいについで身体が感じられ  
て、やはり原子爆くたんは二度と落とされ  
てはなやばいと思ひました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/4

今回は、原爆のこわさを知りました。

私も原爆のこわさをいろいろな物と表現してみました。

けど原爆先生の話を聞いて、その時にどけだけの

ぎせつが出たけどどれだけ苦しく痛く心の痛かったかとか

命がりました。原爆での死体の様子や声は聞いておらず

ほどのつらさの命がりました見たり聞いてるだけであつた。こわく、

おそろしくなりました。近くに住む人の一歩んていなくたり

外げのようなしみのおつたものしみのこらな、という話は

聞いたことあるたのであるが、今日までしみをみてもらて

本当におそろしく、つらいくおしい気持ちになりました。

この実話を伝えるにあつたては本当にもつた

ないし、何十万人もの人命を失つたにたると思ひます。

たので私は今後、このようなことがないと思ひ、

後世に伝えていきたいと思います。

今後はこわさをいろいろな物と表現して後世に伝えていきたいと思います。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今回の授業を受けて戦争がこれほどまでに、  
恐しく、幸く、悲しい出来事であったのか知った。1945年8月6日  
爆心地である広島県広島市に落とされた1つの爆弾が  
市全体を破壊した。爆弾は広島市の上空600mで爆発し、  
広島市に居た約25万人の人々が熱気で灰になり消えてしまった。  
その後の熱線や衝撃波により合計11万人が亡くなった。  
1つの原子爆弾が広島を地獄へあつという間に変えてしま  
生きている中忘れることの無い4日間にしたのだと思う。  
私は原爆先生の言った話を想像した。それは、私が一番と  
思う程後悔する出来事であつたろう事だつた。  
次にまた同じ様な事が起これば私はその場で絶命をし、  
悲しみに泣き周りの事なんて一切見えなくなるだろう。  
だから日本が争わない様に、自分が、周りの為に  
日本人としてできることを探し、それに尽くそうと、私は考えた。  
原爆先生は出来事をくわしく具体的にまとめて話して  
くだつた。大変良い時間でした。原爆について、なにか関係をも  
持っている本を読み、更に原爆について知れたらいいなと  
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業をつけて、原爆のおそろしさについて学びました。また、特に印象に残ったことは3つあります。1つ目は、原爆による被害についてです。ぼくは今まで、原爆は爆発するだけのものだと思っていました。しかし、原爆が爆発した時は、熱線・衝撃波・放射線まで放出されていて、それらによる被害も大きいことを知り、原爆は自分が想像するものよりも、とおそろしいものなのだと感じました。2つ目は、原爆が爆発したときの熱についてです。原爆の中心部は約100万℃、表面は7000℃と太陽よりもあつく、また、600m程の上空で爆発したか、地上では鉄もとける程の3000℃となっていました。このことを知ってぼくは、原爆の表面温度が太陽よりも高いことにもおそろしかったです。また、今後また原爆が落とされることのないように、原爆のおそろしさについて周りの人に伝えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、一番印象に残っているのは、「原爆の恐しさ」です。

原爆が地上におろして、約2万人の人が、いっしょんで、なくなつた。太陽の表面より熱い原爆が投下されて、たてもの、人間、がいっしょんで、なくなり消えた。

私は、こんな事を想像するだけで、きょうびを感じました。けれど、当時の軍の人達からしてみれば、私が感じた1億倍もの、恐しさがあったと思います。

私達は、「戦争」という物を勉強したたけ、たから、「こわい」「日本はバカた」など、簡単に言えますが、こんな事は、実際にあつてみないとわからないと思います。

けれど、今回の原爆先生の話を聞いて、どれだけの死者、犠牲者、被爆者が出たことが、よく分かり、今までの「戦争」に対する思いが、「こんなことが二度と起きてはいけません」と強く、思えるようになりました。

またまた、知らない事がたくさんあるけれど、社会の勉強の、日本の歴史について、自分で調べようと思いました。

私達のために、話をしてくれて、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して考えたこと、学んだことは2つある。  
1つ目は原爆の恐しさというものはただ本などや記録を見て知るのではなく、原爆を体験した人の話を聞くことで本当の恐しさというものを学ぶことができるのだと思った。理由は本などでも学ぶことはできるが、体験者の話を聞くことで何がどう恐しかったのかを学ぶと思うからだ。

そして、2つ目はこの原爆先生の特別授業で学んだことをこれから生活していく中で忘れずに自分の周りにも伝えていきたいと思った。

ぼくはこのことから今までより多くの原爆についてを知ることができた。そして、これからもこの授業で学んだことや考えたことを大切にしていきたいと思う。



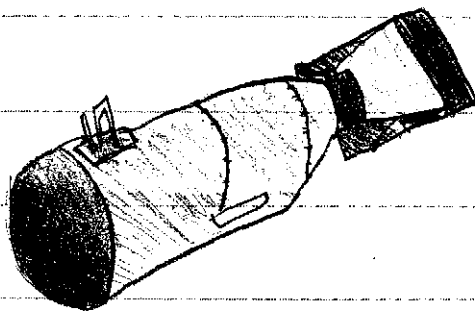
# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分は原爆とは何かまったく知らなかったが、原爆先生の授業を受けて原爆の恐ろしさを知りました。それと同時に戦争の恐ろしさも知りました。広島の人たちには、可哀想<sup>あはれなげ</sup>としか思いませんでした。原爆ドームは人類にとっての負の世界遺産と改めて思います。でも、実際に原爆ドームや原爆資料館で、どんなことがあったのか、被爆の惨状を示す写真や資料を見て目に焼き付けたいと思いました。戦争で亡くなった人たちのために、自分は精いっぱい生きようと思います。それと、もう二度と無意味な戦争がおきないでほしいと願っています。先日は、色々教えてください、ありがとうございました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

私は今回原爆先生の話を聞いている中で「原爆の被害が心に残りました。なぜなら、原爆によって、被爆者が出て、多くの方が亡くなったり、生きている人でも、原爆によって出た大量の放射線によって、原爆症によって苦しんでいる人がいると知って、「原爆はおそろいな」と感じました。

また、原爆の被爆者の様子や、被爆した町の状態などの話を聞いていると、より原爆が恐しく感じました。

たった一つの原子爆弾で、多くの人々の命が亡くなり、街が破壊される。原爆は、とても恐ろしいものだと思います。今回、原爆先生が話されていたことは、私たちに、とても大切な事だと思います。実際に被爆した場所を見ている人の話は、原爆が落とされてから何十年もたっているのに、貴重な話だと思います。なので、これから先も、この原爆の事を忘れないようにしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は昭和時代の人ではないのであまり原爆のおそろしさはよく分かりませんでした。

でも、原爆先生の特別授業を通してたくさんのごことを学びました。

私は特に心の中に残ったことがありました。

それは、広島に原爆を投下したという所です。

広島には広島県産業奨励館がありました。

私は原爆がどんな力なのか知りませんでした。が、広島産業奨励館に原爆が落とされた時に、ほね組だけになってしまったと聞いてこれだけ原爆がおそろしいか分かりました。

そのほかにも広島の被爆者は24万人、死者数は14万人で死亡率が40%と聞き、これに5人に1人は死亡とも教えてもらいました。

そして最後に原爆のことです。

原爆と約4トンのばくだんをつんだB29爆撃機エノラ・ゲイが出発した。

このように広島はたくさんのご被害を受けるということをよく学びました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

ぼくが一番おどろいたのが原爆の効果  
です。原爆がすごいということは知っていま  
したけどどれほどすごいか知らなかったから  
です。原爆先生によると広島に落ちてきたのは、  
「リトルボーイ」というもので地上600mの  
ところで爆発しました。その中心は100万度、その側  
では7000度と太陽の表面度の6000度より1000度  
も高かったのです。そのときぼくはこゝろに温度が  
たかかったんだととてもおどろきました。

そしてそこにいた人々は、やけどをして死んだ  
人もいれば少し生きて死んだ人もいたそうです。  
そのとき軍の人が助けようと思いい体をもたが  
皮がはがれてうでがとれてしまったそうです。  
中には人間が分からない人もいたそうです。  
このことから二度と戦争をしてはいけない  
ということがよく分かりました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

テレビなどで、原爆のことは少ししりていたけれど先生の話で良く分かりました。原爆のいかによりにんがはがえたり、やけどをしたり、聞いていて心がいたかったです。一、しゅんて死んでしまったり、苦しみながら死んでしまったというのを聞いてこわかったです。先生のお父さんの行動はせつたりにほくにはできないと思いました。理由は、全く知らない人の言い方悪けとクチャクチャの状態...の人を運ぶのは、心がいた...からです。そして父さんが最後の動画で泣いてしまったのが心にびびきました。この話を未来につなげてほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて、思ったことは、  
ぜったいにこの爆たんは使ってはいけない、と  
思いました。その理由は、直感したこと  
は、すぐに「こわい」と感じたからです。く  
わしく言うと、人が人でなくなって、かけし  
か残らなくなること、たてものがーしゃ  
んでやかれること、あと、ーしゃんで火  
の海になってしまったことです。

今、想像すると、ゾクゾクして、実際  
話してもらった話よりも、私が想像し  
ていることよりも、その時の広島(長崎)の  
ほうが、もっとおそろしいものだったと思  
います。

この爆たんは、二度と、使ってはいな  
いと、強く思いました。

原爆先生、貴重なお話をありがとう  
ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争や原爆はとも悲小惨で、二度としてはい  
けないものだと強く再確認した。  
家にはおのケツがあり、え本を讀んだらこ  
とがあつたが、原爆先生の言ははとしてモリアル  
で、<sup>臨場感</sup>臨場感や生々感があつた。特に、原爆  
が落とせる瞬間のしびれからいきなり大きな音  
がなるころは、実際も普通の日常であつたのが  
いきなり大きな音かして爆破されるのが伝あつて  
きた。

原爆はともい力か強い火薬弾といことは  
知つていたが、原爆が爆破してできる玉の  
表面の温度が太陽の表面温度より1000℃も  
高く、太陽が上空600kmまで近づいてくるのと同じ  
と聞き、想像よりい力か強くおどろいた。

人が一瞬であまなるといふ、あまいふ  
どうできなかったが、実際の写真を見とて  
モリアルでともおどろしいなと感じた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この授業を通して、原爆などをよく知ることが出来た。戦争は決して  
非難であり、あてはまらないものだと感じた。

テレビなどで終戦記念日に原子爆弾の被害を  
受けた人たちの話をしているのは聞いたことがあ  
り、原子爆弾のおそろしさを強く感じた。特に、

一瞬にして人々の命をうばい、今でも、  
原爆におおて、亡くなった人が多くいるところ  
はとても悲しいことであると思った。

だから、このようなことは二度と繰り返してはな  
い、そのことを今後にも人に伝えていくことが大切  
であると思う。戦争はどのようなことであってもして  
はいけないことを強く考え、他の人に伝えたいと  
思う。また、自分なりにもっと原爆や戦争につ  
いて調べ、学んでいきたいと思う。これからの世界が  
平和であるためにも、戦争を絶対にせず、  
被害を受けた人たちの思いを大切に伝えることを  
意識し、日々の生活でも考えたいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

先生のお話は表現がすごく細かくて、聞いて  
いるとまるで映像を見ているかのように、その  
当時の様子が伝わってきました。でも、その  
様子があまりにも悲惨で信じられなくて、  
「もし自分がそれを目の当たりにしたら」と考え  
たら、おそろしさや悲しさでいっぱいになって、  
にげ出したくなりました。  
私は、原爆ドームには行ったことがなかったけど、  
今日のお話を聞いて、少しでも原爆のおそろしさを  
目で見て感じたいと思いました。また、あたり  
まえだと思っていたけれど、改めて、私達が  
今平和に何の心配もなく生活できている  
ことが、とても幸せなことなんだと気付き  
ました。そして、これからもずっとみんなが  
安心して過ごせる世の中であってほしいと  
思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

私は原爆先生の話を聞いてもうこういう事が起きないよとしたいと思いました。広島は人口が35万人で被爆者数は24万人の中で2万人はいっしょに亡くなった。死者数は14万人だと言っている。死亡率も40%5人に2人が亡くなってしまふ。原爆の名は「リトルボーム」で長さ3.2m 重さ約4tの重たしり私はこんなのが広島に投下したと思うとしてもいいです。それ一番おどろいたのは太陽の表面度が6000℃くらいで原爆は表面度は7000℃と1000℃もろがい直径200mの100万℃の物が落ちてくることです。落ちてくると体の水分がすべて蒸発し皮がはがれおらる。8月9日に長崎にも原爆を投下した。原爆を投下する候補は広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都の中、広島と長崎になった。京都が除外された理由は占領しやすくするためなど他にも色々あるそうです。そして池田義三さんの話を聞いてとても悲しくなりました。原爆が投下され皮がはがれた人形を見た時、広島の人はこの痛みにたえながらも軍隊に取付をもとめ、劣るような人形を見てもう二度と同じことを起こさないようにしたいと改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業では、知らなかつたことを、たくさん、くわしく知れました。被爆した人たちがどんなに苦しんでいたか、そしてたくさんの方が亡くなった事が分かりました。社会の授業で原爆の事を学んだ時は、様子が想像しにくかったけど、原爆先生の授業の時は、原爆の被害を受けた人たちの苦しみ、原爆の怖さ、その時のその場の状況がよく分かりました。私は今まで原爆についてはいちも知らなかつたけど、そこに居た方の話を聞けたことで、社会の授業では学べない事を学びました。また、原爆ドームの元の形を知らなかつたので、原爆によって街がどんな被害を受けたのか、被害の大きさが分かりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の特別授業で原爆がどれほどおそろしいのかを知りました。まず原爆が爆破した時の音を原爆先生が「いばん」した所がすごくおどろきました。もしあの音があつたら、頭がびびると思います。他にも原爆の温度が太陽よりもあつたといふのを知り、びっくりしました。太陽はあんなに遠くて、こんな暑いのに、もし600mくらいは太陽よりも暑いのがあつたと考えると、すごくおそろしいです。この原爆の温度で体がやけどしてしまつたり、しびれてしまつたりするといふのが本当ではないです。僕はこの原爆による死者が10人以上もいるといふことがおどろきました。たつた一回の爆破で広島県の40%が死んでしまつたといふことがとてもおどろきました。

僕は、今日原爆先生の特別授業をして、原爆がどれほどおそろしい物なのかを知ることができました。これから先は、どの国も原爆をつづつわけてほしいです。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆<sup>原爆</sup>のことは知っていたけど「もっとくわしく、  
知りたいな」と思って、原爆<sup>原爆</sup>のことがいろいろ、  
聞いてよかった。

広島は~~24万人~~ <sup>14万人</sup> 長崎も7万死したそうで  
す(原爆<sup>原爆</sup>で去けました)

ながでも広島島の14万人の2万人は、すぐ去たり  
黒いかけだけが残ったと聞いていました。  
ぼくは、その話を聞いて、こわくて、  
しかたなくかいたです。

もっとくわしく話が聞いてみたいと  
思いました。

もし、体験会があったらこのことを生かして、  
自分の心をまもります。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回の授業で思った事が3つあります。

1つ目は原爆は二度とつかわぬ。そして戦争をおこさせないようにするためには世界の平和をくずさないようにすることが分かりました。

2つ目は二度と戦争をしないことです。戦争をしたらたくさんのひかい者がでます。二度と戦争をやらないうためにどうすにはいいのかわかり考えたいです。

3つ目はこの戦争や原爆を未来に伝えることです。なぜならこのことを伝えて行かないとまたしても同じことをくり返すとはくは思いました。未来にとっしてもとても大切なことです。

少しでも自分がやれることがあればいいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

本日は誠にありがとうございました。  
私は、色々な話を聞いた中で特に印象に残っているお話は、原爆ドームが爆破された後の出来事です。

原爆が落ちてまたたく間に家や事務所などが焼け落ちたことが衝撃的でした。一瞬の内にそんなに焼け落ちるものなのかと思いました。そして、人々の悲惨な姿を聞き、震えが止まりませんでした。それでも必死に生きようとして、痛みをたえながら歩く人々を思いうかべるととても悲しくなります。

ですからもう2度と戦争が起きない戦争は、苦しみ入る声が聞こえない世界になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて思ったこと  
です。

1つ目は、原爆先生の父様の話を聞いて、  
とてもおどろいたと言うこと。原爆の被害に  
会った人の話で、やりけでとして、いる人がいた  
原爆で、しゃんと人が消えて、黒い影の  
様な物がそこに残っていたり、原爆は、  
とても<sup>恐</sup>い物だとは、自分で分かっていたつも  
らうけれど、まさかこんなにとは、<sup>思</sup>わなかった。  
また、長崎のかねと言う復興の歌の、本生と見る  
事ができたと思っます。

2つ目は、あの話を聞いた後、先生が、あの語り  
知らなかった、書いていた事です。原爆先生は、  
常時のほい内で訪てくれる人になって、最初  
思っていたのよりも、その先生の一言を聞いて、  
(あの時間には、本当に特別な時間だったん  
だな) と思いました。

この2つをふまえて、原爆先生に来ていたけれど  
ここには、とても感謝しかありません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、アメリカが日本に落したことにおどろきました。日本とアメリカは、仲が良い感じだが、なぜ原爆を落したのか疑問に思いました。ぼくは、知りたいと思い先生に聞いてみると、それは、今と昔では仲のよさも変わることはあることだとおしえてくれました。2つ目におどろいたのは、原爆をおとす地域です。京都が、とても美しいとアメリカの学者たちが述べていたのに、もともと、おとさなかつたことが疑問に思いました。なぜかという、京都にはたしか人の歴史があり、その歴史を残すためだ、たそい、戦争をしているのに歴史を守るやさしさをもっていることにおどろいたのです。3つ目は、原爆の破かい力です。日本たにいたたけ人の体はとけて、消えてしまうのです。家などの建物がにりたとしても、熱で体がやけてしまうので、たよかる方法はほとんどかかたそい、地下にいたすが、たという人の話を先生が言、いた時はほんとうにきせきだと実感しました。この授業を受けて、前以上に原爆の怖さを感、少しおどろとした場面もありました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業で思ったことは、原爆のおそろしさ、ひさんさを再度思いました。私が一番おどいたのは原爆の大きさでした。200mという体育館10個分の大きさが空からふって100万℃で地上から600mの所にあつて3000℃だったら私だったら怖さどぶるんかと思いません。特別授業をして下さって話をして頂いただけでも怖いのに本当に実体験をされた方は恐怖だと思えます。それに候補になつた京都市がじゃがいされた話を聞いて、思ったことは敵なのに、日本文化を気にして、びくりました。でも広島や長崎になつた理由をもつと調べて知りたいたと思ひました。今回戦争のひさんさおそろしさを教えて下さつた原爆先生、池田義三さんには感謝しがありません。これから戦争のひさんさを心にきざんで生きてい



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今回より戦争の怖さ、原爆の怖さを知りました。原爆については、国語の授業で「平和のとりに書く」で怖さを知りました。でも今回の話でもっとおそろしいことが分かりました。そして兵隊の人の話で、心がぞとしました。どんなに怖くてもやらなきゃいけない、見ないといけない、おそろしさを知り、戦争のやっばいはいけないことがよくわかりました。私が特におそろしいと思った所は、広島市の死亡率が40%（5人に2人）だということと、人口35万人中24万人が被爆された方だということでした。たった1つの原子爆弾でほとんどの方がけがを重い命を落とされている。これはあつはいけないことだと思いました。

私は戦争にもろろ人参加していませんが参加しているような気持ちになりすごく心が苦しかったです。でも参加している人は何倍、何十倍、何千倍の経験をされていることを思うとこのつらさをもっとたくさんの人に知ってほしいと思いました。

私のおばあちゃんも戦争に参加していたので話は聞いたことがあるのですが原子爆弾ではなく



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、特別授業を受講して原爆を証言してくれて  
 くれた人たちを誇りとして、その人たちが  
 どれだけ痛くて、どれだけ苦しむしかたが当時その場に  
 いた池田義三さんの気持ちを知ってとてもやさし  
 かったらうなと思いました。あと話の中で「原爆  
 が落ちたときの音や衝撃波、熱線のおさがとこ  
 も話の中でした。そして池田義三さん  
 が原爆資料館に行ったときの「業しきたる」という  
 言葉から実際はその痛みがたまたま味でいて痛くてもが  
 いていた人はもっとも、それどころかたまたまらうなと思  
 いました。あと原爆の川をくわつてくわつてくわつてくわつ  
 表面温度が7000℃と太陽よりもあつて苦しむかた  
 らうなと思いました。ぼくは、もう二度とこのやうな  
 こととてみたく戦争を起してはいけないなと  
 あらためて思いました。そして今のやうな平和な日本  
 がいつまでもつづいてほしいなと思いました。





# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回原爆先生の授業を受けて、原爆の本当の恐ろしさを知りました。原爆について知っていることは本当に少なく、多くの人が亡くなったことは分かっていますが、それが一体どのくらいの威力をもつものなのかは全く知りませんでした。しかし、今回の授業で、本当にたくさんのことを学びました。実際に原爆を体験した方が、当時どんな風に怖かったかと思うと、私も怖くなります。いつもの日常が、突然原爆によって破壊されることは、戦争を経験したことのない私にとっては信じられないことです。原爆によって命を落とした方も、なんとか助かった方も、想像を絶する恐怖に包まれていたと思います。広島に原爆が落とされてから70年以上が経過した今、何万人もの人が一気に命を落とすようなことはない、平和な世の中が当たり前では無いと、思うことができて良かったです。今まで怖くて避けてきた戦争や原爆のことについて、これから先あんな悲惨なことが起きないように、知っておかなければならないと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が広島や長崎に落ちたことは知っていたけど、他に原爆を落とす候補があったことは知りませんでした。しかも、京都が一番確実に原爆できるのに、古い都で人間にとって大事な物があったり、占領したときに日本人がどう思っかてやめたと聞いておどろきました。原爆先生のお父さん、義三さんが、まんたんのドラム缶を持っていたのに、すごくこぼされたと聞き、原爆が落ちた人は、すごく痛かったとぼされたんだろうと思い、苦しい気持ちになりました。そして義三さんが助けに行きたとき、人間なのに、人間ではなく見える人がいたとき、想い象がつかまませんでした。しかも、ヤけどが全身にあり、歩くときうでがずれていたため、手をななめにして歩いていたとき、そうとう痛かったのだから、と思いました。原爆資料館に全身ヤけどをして、うでをななめにして歩いている人の写真を見て、皮膚がたれているように見えて自分ははじめて見てびっくりしたのに、義三さんはそれを見て「きれいすぎる」と言ったと聞き、どんだけひどかったのかと思うと、苦しくて仕方ありません。今回の話を聞き、あらためて、単なる争いは**2度**と**全体**にしてはいけないと思いました。だから、これからはあたりまえの日常を、大切に生きていきたいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは特別授業を受講して原爆のおそ  
 ろしさを知りました。原爆を太陽がどしどし  
 べらし、すーっとおかたです。それを広島県  
 と、長崎県で「原爆にあてしまった人たちは  
 ものすごく苦しく、悲しい思いをしたのによかん  
 ばつたな」と思いました。原爆は助けられな  
 った兵士さんも苦しいと思し、原爆のなか  
 かにあって「おぼろげ」がする助けたり  
 家やくも失なれた方たちも苦しいです。すが  
 もう世のところが事をわかさないう  
 に未来に原爆のおそろしさを伝えて  
 いて、もう二度と戦争がないようにして  
 この世界がものごとく平和になるとい  
 います。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この授業で、改めて原火暴の力は、とてもおそろしいと思いました。なぜなら、一瞬間で、町をおそい人をおそってしまうからです。今回、初めて、しょうげきは、熱線、放射線という言葉を知りました。私が一番、しょうげまを受けたのは、放射線です。なぜなら、放射線で、原火暴症という病気ができて、原火暴症で、多くの人が亡くなったからです。それに、今も、原火暴症になやんでいる人が、いると聞いたからです。さらに、私がしょうげまを受けたときは、トラックで救助活動をしている時に起った出来事のことです。色々な人が大けがをしていて、たくさんの方が、「助けて……」、「兵隊さん助けて……」と言って助けを求めらるくらい、大変で、生きていても生きていない感情をもっていたんだなと思いました。原火暴は、たくさんの方々の命をうばったり、色々な建物をけかいしてしまったりする力があることを知り、原火暴のおそろしさを知りました。今度、もし行けたら、原火暴資料館に行ってみたいです。



原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

わたしは、もっとげんぱくのことを知りたいです。  
 たとえばげんぱくはくすのたふかはどうなっているのか、  
 なぜアメリカはひろしまにげんぱくをおとしたのか  
 (げんぱくのむくつき)、あつたあとのほくたふんはどこ  
 へいくのか、などについてです。  
 ほんのむきしをわたしへ教えていただきありがとうございます  
 でした。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は初めて原爆のおそろしさを知りました。例えば、この原爆の力は「熱線」、「しゅうけき波」、「放射線」で、太陽のひょうめん温度は6000℃にに対し、爆たんのひょうめん温度は17000℃という事で、爆たんのほうが、熱いという事がわかりました。これがおそろしいと思っただ一つの点です。さらに、しゅうけき波に関しては、1回目には原爆の、2回目はそのしゅうけき波が、地面から、はねかえってきたしゅうけき波だったというのもおどろきました。そして、放射線については、2011年、3月11日に起こった、東日本大震災の、原発事故が起き、ニュースで「放射線」についてもやっていましたが、この原爆で、放射線の後遺症となる人もいて、とても、おどろきました。これが、おどろいた3つ目の点です。そして、ちがう意味で、おどろいた事は、中心地から150mしかはなれていなくても、生き残った人がいた事におどろきました。これでコンクリートは、強いんだと思いました。私は、この特別授業で学んだ事を生かし、社会の授業を充実したいと思います。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

特別授業を受講し、思、たことは、原爆と  
かのいり、くか、思、て、いたより強いものだったと  
いうことです。原爆が落ちると、まわりの建  
物がくずれるとか、人が兵隊の人に必死で  
たすけをもとめてくることとかに衝撃を受けまし  
た。たすけを求める人たちに手をさしのべて、ト  
ラックに入れようとするとか、かばかされてしま、た  
ということから、原爆はとてつもない苦しいものだ、という  
ことをあらためて実感しました。こんなにも苦しい  
原爆なのに、まだ「衝撃波」とか「放射線」と  
か、さまざまなことばかり起きてしまうことを知りました。  
原爆「リトルボーイ」を落とすエラ・ガイという爆撃  
機があることも教えてもら、ました。当時の実際の  
写真を見ると、黒いかげだけ残、った階段など、  
を見ると原爆のおそろしさが分かりました。そして  
最後、広島市の死者数についてです。広島市の人口のう  
ち5人に2人が亡、くた、りました。ということ、死者数のう  
ち2万人は10歳以下の子、供、ということ、死亡率は60%、という  
ことを忘、れな、いようにしたい、と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

Large empty area with horizontal dashed lines for writing.





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

学校の図書室には、『はだしのゲン』という本があります。自分は、この特別授業を受ける前から読んでいたので、原爆の生々しさなどは、多少分かっていました。しかし、今回の先生の話を聞いて、とてもおどろきました。

それは原爆の表面温度が太陽よりも、熱いことです。熱くて、大やけどをして、皮ふがただれるなどの症状は本じ分かりましたが、具体的な温度を聞いて、とても納得しました。

ほかにも、候補に小倉があって、天気の違いで小倉に投下されたかもしれない長山崎が最初だったかもしれないということにもおどろきました。

このように、日本は、ただ1つの被爆国として、原爆のおろかさ、などを後世に伝えていきたいです。これからも原爆のことを忘れずに生きていきたいです。このような機会を作ったたび本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

特別授業を受講する前は、「わいとは聞いていたけどどれくらいかな。」と思っ  
てはいましたけど、原子爆弾が爆発した  
ときの音を聞いた時は、いすから落ち  
て心臓が飛び出てしまうほどにわか  
ったです。他にも、元安川で死体を運  
んでいた時の死体から出ている臭い  
はかいだことはありませんが、「のすこく  
い」ということは分かりました。原爆  
の中心が100万℃でまわりが7000℃さ  
らに地上では3000℃とどれも体験で  
きないのでよく分かりませんが、  
とても熱いということは分かります  
ので、それをあびた人々のことを思  
うと、とても心が苦しいです。衝  
撃波の速さは毎秒440mと、音より  
速いということに一番おどろきま  
した。それは、体にぐわてきた後、  
自分の身に音が聞こえるということ  
で音のしない何か分からない物が急  
にくるのはとてもこわいと思いま  
した。議の最初の「7000℃の少年」  
はコンクリートで出来た水の中に  
いた少年ことだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の話を聞いてやっぱりおそろしいなと思いました。

ばくだんは大きいし落ちるスピードが早いって  
いうのがとてもこわいです。しょうげきの後  
に音が来るというたのでとてもこわいと思  
いました。しかも熱さが太陽の表面  
6000°に対してばくだんは7000°という。  
1000°もちがってそんなのあたったら死んだ  
と思います。広島付近で生きていたら  
運が良かったとしかいえないと思  
います。実際はこの場所にはいた人は、  
すごくつらくて、苦しかったと思います。  
それと同じでそこに行った兵士たちを  
人に「助けろ」と言われても助けられ  
なくてとてもつらかったと思いま  
す。だからこそ同じ事をくり返さない  
ように原爆先生は活動をして  
次の世代に残るようにがんばら  
ていってんだと思いました。とても



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

戦争がこんなにおそろしく、そして怖いものだとはい、知らないうちに、たのび、すこく戦争についてくわしく知れて良かったです。あとは、戦争に使われている飛行機のことや名前なども前から知りたかったので、知ることが出来て良かったです。あと広島に投下された原爆の名前や、特攻隊なども知れて良かったです。あとばくたんがばくはつした時に丸い円じょうになり、200m以上の円になり、その中心の温度が100万度で、外の温度が7000度になるなんてことを知ってびっくりしました。あとほうしんせんという言葉は知っていたけれど、ほうしんせんの意味も知らなかった。たのびでこの経験がいてくれて良かったです。戦争には前から少し興味があったので、(特に飛行機は)B29のことをたのびをしてくれて良かったです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の話を聞いて、とても  
こわいと思いました。理由は原爆が落  
とされることによつて、たくさんの方が亡くなつた  
り、たくさんの方の建物がくずおたりするから  
です。ものすごい力をもつた原爆は  
太陽より、熱いということにとてもおど  
ろきました。そして、どうしてこういうこ  
とになったんだろうと思いました。他にも  
原爆による、死者率は40%、5人に、2人  
が亡くなるくらいと聞いて、改めてこわい  
なと思いました。

この話を聞いていて広島に行つて、原爆  
ドームを近くで見たりです。資料館も  
見に行つて特別授業でもわからなかつ  
たことを知りたかったです。戦争という  
危険なことが、これからの出来事にな  
ないといいなと思います。原爆のこと  
をもっと知りたいたと、改めて思いま  
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

特別授業を受講してもう二度とあてはならないなと思いました。特に思った所は、広島資料館でやけどで手をふるとおきのあたりが痛くて手を前にたすらしている姿の人形です。でも原爆先生のお父さんは、これよりもっとひどいと言っていて、ほくはこれでも見たくないほどひどいふうきょうなのにもっとひどいと想像もできなかつたです。あとアメリカ軍がどの都市にうげきするかを決める際、よくおされたのが京都なのにもかからず、広島、小倉、長崎になっていた事です。理由は人間にとっても重要な文化財だからだそうです。これにかんして、アメリカはなぜそんなことを言ったのか不思議でした。うげきするのになぜこんなことを考えていたのかよく分かりませんでした。外に氷をおいておけば、ううしてしまて、水の中に入れば、死んでしまふ。もうにげぐちがないような気がしました。ほくたちも次の世代につたえたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の話聞き、一番に思ったことは原子爆弾の恐しさです。投下されたソトルボーイ、とう原爆を見、その原爆による被害を聞き、本当に恐しいと思いました。途中で話すのをやめ数十秒間だまり続けた後突然「バーン」という大きな声を出し被爆者の気持ちを一部實際に感じました。その時被爆者はのんびりとおたげかに普通に生活をしていたと考えると原爆の恐しさがもっと増しました。次になぜ原爆先生がこの特別授業をわざわざ小学六年生の私たちに伝えようと思ったかを自分で考えてみました。原爆による被害は実の家族が体験していてそのおそろしさは十分に理解しその話を他の人に伝えるということとはとてもつらいはずなのに最初は思いました。しかし、話を聞いていくうちにそのつらさを乗り越えて必死に次の被害者を出さないようにしようと考えたからだと思いました。アメリカ軍が何も悪い事をしていない広島県民を無差別に殺そうとしたことを許し、これからの日本の平和を願っている原爆先生をとても偉大に感じました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

戦争の話聞いて、私が産まれる前に、そんな悲さんで、  
ざんこな事がおきていたんだと思うととても悲しくなり、  
なみだがとまらないです。

一番おどろいたのが、原爆の熱さが7000℃もあったことで、  
中心の熱さが100万℃もあると知ってこわくなりました。

人々がひふがはがれながら息たえて、生きる姿を想像したら  
なんとおそろしく悲んなことだろうと思いました。

建物をヤブにげてしまって、たった一発で、たくさんの人々が、  
死してしまいとても悲しくなりました。

私は7000℃の少年という意味が分かった気がします。

原爆の名がリトルボーイ、そしてその原爆の温度が7000℃だから  
なのかと考えました。

実際の話聞き、ふるえが止まりませんでした。トラックに人を  
引き上げる時ひふがおち、手と手がばらばらになってしまったこと  
の話は、とても心に残りました。

戦争はもう二度とおこしてほしくないと感じました。

体験したことだからこそ、話せる内容で私は実際に体験  
してほくないけれど、とうじの写真など話を聞いて、戦争が  
どんなにおそろしい物かを考えることが、またのほくない  
かと思えます。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はB29爆撃機がリトルボーン  
を4本しか積んでいけなかったこと知  
り、おどろきました。日本はさんざん  
なことをしたのだから、もう少し積む  
が、爆撃機をあと一機増やしてもい  
いような気がします。アメリカはそれほど  
までに日本にしたことを軽く見ている  
のかというところが特におどろきです。  
私はそのときのアメリカの心境を知りたい  
と思いました。そうすれば金銭面の問題  
なのか、ただ単にあまり怒っていか  
ったのか、またはそのどちらでもないの  
か、知ることか、できると思います。  
私は自分がかされたことをなくむ前に自  
分がして来たことを思い返すよう心  
がけていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

- 原子火暴弾により、ひらがたれさ  
がたり、建物がこおれたりして、  
自分が思っていた以上に核兵器は  
恐いもので、核兵器はあっては  
ならないものだ、とあらためて自  
覚しました。
- 原子火暴弾が火暴発すると被害  
を受ける土域が広く、核兵器に  
よる攻撃は糸色対にあってはな  
らないものだ、と強く感じまし  
た。
- 原子火暴弾による被害を受けると  
ものすごく苦しむことがあがり、  
死にたくても死ねなく、今回の  
話しを聞き、核兵器の危  
険さを強く感じ、核兵器に  
よる被害を受け人の苦しさがよく  
伝わり、核兵器はあってはならな  
い存在だ、と強く感じた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくが、一番びっくりしたのは衝撃波の速さです。  
初め、毎秒440m(音速は340m)の衝撃波は  
音よりも速いなんてびっくりした。

ほかに、びっくりしたのは死者数にびっくりしました。

広島市の人口→35万人 被爆者数→24万人

死者数→14万人として死亡率40%というのにもびっくり  
しました。

思ったことは、ぼくはこの原爆の起ったときにうまれて  
いなくてよかったと思ったり、こんなことはおや、てほくは  
ないです。

ほかに、原爆の候補になった都市

広島・小倉・長崎・横浜・新潟・京都

中でも、京都がおさされていたが、京都には、

寺などの人が大切にしているものがあり、それを

こわすわけにはいかないから、京都はじょか

され、広島・長崎に原爆をおとすことになった。

2回目だけど、ぼくはこの時にうまれてよかった

たし、もう二度とこんな原爆をおとさないでほしい

です



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

この授業を通して思ったことは、原爆のおそろしさです。一つ目は、原子爆だんのせいで、やけてしまったり、骨だけになってしまったり、いっしょんにして、命がうばわれてしまうことです。二つ目は、ものすごい熱があるということです。太陽の表面温度が約6000℃で、ものすごく熱いのに、それをうわま、て約7000℃もあるということを知り、とてもビックリしました。三つ目は、やけどをおってしまったり、人を助けたくても、みる、か、は、か、れてしま、い、助けられない人がいたということです。

「助けて...」 「兵隊さん... 助けて...」と言われても助けることができない人がいるということを知り、胸が苦しくなりました。私は、この授業を通して、実際には原爆ドームに行ってみたいと思いました。資料館にも、行って、その時に何か起きたのかを、同じ日本人で起きたことなので、知ってみたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

アメリカ軍がより多くの日本人を殺すために原子爆弾  
 投下都市の条件もついている事が怖かった。候補  
 となった広島市、小倉市、長崎市全てその時天候が悪かた  
 ら良かったのにと強く感じ広島に投下された原爆「リ  
 トルボー」は横3.12mしかないのに、爆発する直前に外  
 周が太陽の表面温度6000℃を超える7000℃になり中心は  
 100万℃にもなると、地表から600m上空で爆発したのに、  
 凄まじい衝撃波+熱線、放射線が人々をおそったん  
 だなと思うと、とても恐ろしいと感じた。広島市の人口35万  
 の内、その70%の人が被爆し、40%が亡くなり、更にそ  
 の内の約2万人の方が一瞬にして、跡形もなくなってい  
 ました事がとても気の毒だった。原爆の爆発により空気が膨  
 張し、一気に暖まり上昇して成層圏に当たり横へ広がってき  
 るキノコ雲の写真が大規模で驚いた。池田義三さんが見た  
 道に倒れる人や、防火用水の桶の中の人、衣町の路面電  
 車の中の白骨の周りにあった内臓まで焼け焦げた小さ  
 縮んだ炭の塊、御幸橋前で足に傷を負った女性  
 などの話を聞き、戦争による惨劇を二度とおかして  
 はいけないなと強く思った。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生のお話を聞いて  
まず原爆の名前が「リトルボーイ」という名前だから  
です。そして大きさが3.2m、重さが約4tです。リトルボーイの大きさ  
重さにびっくりしました。そして原子爆弾投下条件  
というものがあります。一つ目、直径5m<sup>7000℃</sup>を超える。二つ目、平野で  
あること、三つ目空襲<sup>空襲</sup>がなかった。とあります。  
そして、一番いしゅうに残ったお話は原爆によって大けが  
してしまった人を助けた時に、手の皮が抜けて  
破れてウミがでてきたり、骨が見えてしまったりした  
と聞いてびっくりしましたし、聞いただけでとても  
痛そうだなと思いました。私はこの原爆先生  
のお話をいかしそしてこれからも、たくさん  
原爆のことを知りたいと思いました。

今日はありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いて前よりもこわくなりました。なぜなら、広島市人口35万人被爆者数24万人死者数4万人死亡率40%という数にしてもおどろきました。原爆先生の話のときは、まごくはし力があり、爆発するときは、とてもおどろきました。2回目があるかこないかのときはすごくおどろきました。3回目のときの話は皮がずるおけてとても痛そうだなと思いました。ビデオのときはうらしい話をしている間に泣きかけたときがあったときはとてもうらいことがあったんだなと思いました。最後に思ったことは二度とこのようなことはあってはいけないなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が原爆先生の話を聞いて一番印象に残ったのは原爆によってやけどした被爆者を助けようとしたりと手の届かなくなってしまった時にザーとしたと言っていたところです。自分は原爆先生の話を想像はきいていたので想像するたりにザーとしてしまいました。原爆の悲惨さは本や人から聞いたことがあ。たりと原爆先生の話を聞いてあらためて原爆の悲惨さを感じました。次に印象に残ったことは太陽の温度が6000℃なのに原爆の中心は100万℃表面は7000℃と太陽をこえる温度が爆発したということです。その原爆が爆発したのに少しでも生き残る人がいてそれはとてもすごいことだなと思いました。原爆先生の話をきいてとても知らないことばかりだったりととても勉強になりました。